

北杜市環境保全事業実施報告書

団 体 名	八ヶ岳猪鹿鳥
事 業 名	【森に学び森を守る！「八ヶ岳狩猟の学校」プロジェクト】
事業概要 ※実施内容、事業 期間等を記入し てください。	「八ヶ岳狩猟の学校」とは 狩猟の現場の実作業（ワナ掛け、解体、メンテナンス作業等）を市民と協働することで、狩猟の意義と現実、森の自然について学び、環境保全と環境教育の推進を図る事業。 <事業の意義> 狩猟（有害鳥獣駆除）の安定化は、シカやイノシシの個体数調整に寄与し、野生動物の食害から直接的に森を守る環境保全につながる。 また、市民にはあまり接点のない「狩猟」のテーマは、環境教育の場としても多くの可能性を持っている。 ①駆除個体の有効活用推進「ジビエ肉の利用＝食育・地産地消」「角や皮の利用＝地域資源の掘り起こし」 ②狩猟への理解＝「森林生態系のバランスの理解」 ③狩猟の価値の理解＝「森を守る活動の促進、狩猟に関わる次世代の人材育成。」 <取組内容> 「八ヶ岳狩猟の学校」として、近隣の市民および親子向けに参加者を募り、体験事業を実施する。 【狩猟の現場体験】 ワナ猟を中心とした有害鳥獣の実作業（ワナ掛け、見回り、メンテナンス、解体作業等）の体験 【駆除個体の有効活用事業】 駆除個体の有効活用のための体験。ジビエ肉料理の試食会や勉強会、革や角を使ったクラフト体験会を行う。 【野生動物をテーマにした自然体験】 森を知り、野生動物への理解を深めるため、シカ角拾いや、アニマルトラッキング等のプログラムを通じた自然

	体験を行う。 【自然や狩猟関連の施設の視察ツアーおよび勉強会】よりよいプログラム展開のため、先進事例の施設やイベント・勉強会等への参加を実施する。 【イベントへの出展・ゲスト出演】外部イベント等への出展や、受託事業としてゲスト出演等を行い、より多くの方への普及啓発を図る。 【広報営業の強化】より多くの方への団体の事業活動アピールのため、SNSやWEBサイトの構築及び更新を進めるとともに、普及のためのチラシづくりや看板、ノベリティグッズの開発等も進める。 <事業スケジュール> 2023年度～：「狩猟の学校」狩猟（有害鳥獣駆除）に伴う作業体験、環境教育の自然体験を継続的に進め、安定的な事業の推進を図る。 また、活動の認知度の向上のため紹介の機会の構築を進める。WEB・SNS等での広報準備を進めることやイベント・展示会などへも出展の可能性を模索する。 2024年度～：上記事業の継続し、より安定的な活動にしていくための展開を進めた。 ※補助金交付年数：2023年度は、3年間の2年目（2025年度以降、自主事業やその他補助金等を活用しながら実施継続予定） <自主運営に向けての取組> ・参加者に体験料・材料費・保険料等のための参加費を募る。 ・受託事業やイベントでの有料クラフト体験実施。 ・その他必要な経費については、関連団体へ寄付を募ったり、一般向けにクラウドファンディング等の活用を図ったりしながら持続可能な運営を目指す。 <成果指標> ・事業参加者数：年間のべ269名 ※リーチ数：約500名以上
備 考	※詳細は：別添資料（活動記録）参照。

1 収入の部

内 訳	決 算 額
他の補助金・助成金	
参加料	
寄 付 金 ・ 協 賛 金	
その他（事業収入）	126,000 /
小 計 (B)	126,000 /
自己負担金	490,029
合計	616,029

2 支出の部

(単位：円)

内 訳	決 算 額
報償費 /	30,000 /
旅費 /	32,196 / (燃料費)
燃料費 /	147,838 /
役務費 /	15,396 /
消耗品費 /	125,905 /
備品費 /	161,326 /
広告料 /	40,901 /
食料費 /	62,467 /
合 計 (A)	616,029

※ 収入の合計と支出の合計は一致させること
補助金交付額(G)

300,000円 1/c

$G = (A - B) \times 2/3$	ただし、補助金 交付決定額以下
--------------------------	--------------------

$$490,029 \times 2/3 = 326,686$$

2024(R6)年度 北杜市環境保全基金事業「ハケ岳狩猟の学校」活動報告書

2025年3月28日 ハケ岳猪鹿鳥 代表 佐藤陽介

2024(R6)年度、「ハケ岳猪鹿鳥」の活動について、以下の通り報告する。

<森の学び森を守る！「ハケ岳狩猟の学校」プロジェクト> ※実施日および人数等詳細は別紙。

○取り組み内容:「ハケ岳狩猟の学校」として、市民および親子向けに参加者を募り、体験事業を実施。2024(R6)年度は、86事業を実施し、のべ269名の参加者へ体験を提供できた。また、今年度も、イベントへの出展や事業協力の機会があり、500名を超える方への体験および普及活動を展開できた。

【狩猟の現場体験】

ワナ猟中心の有害鳥獣駆除の実作業の体験(ワナかけ、見回り、メンテナンス、解体作業等)



【駆除個体の有効活用事業】 有害鳥獣駆除された個体の生命を無駄にせず、有効活用していくための体験や試作等。(ジビエ肉料理試食会、勉強会、革や角・脂を使ったクラフト体験等)



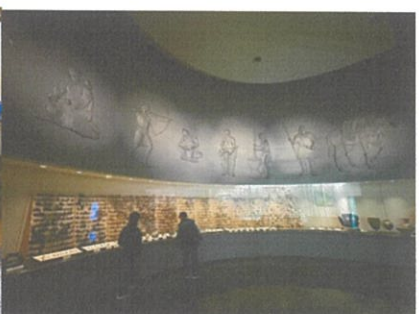
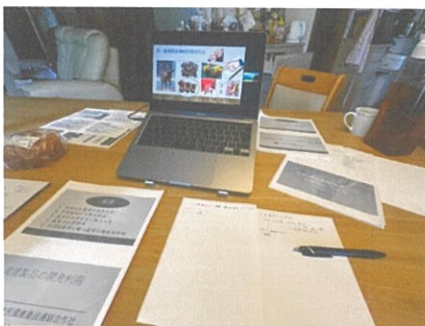


【野生動物をテーマにした自然体験】 シカ角拾いや、アニマルトラッキング等の自然体験





【自然や狩猟関連の施設視察および、研修会・勉強会への参加】



【イベント出展、事業協力等】

